

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
人体のしくみ2							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名	実務経験			
柔道整復学科・夜間部	1年	後期	藤枝弘樹				
分野区分	教育課程			講義形式	コマ数		
基礎分野	科学的思考の基礎人間と生活			産学	2		
科目概要							
<p>人体のしくみについて基礎知識を身に付ける科目です。 主に、生命維持に必要な血液循環、内臓機能等について理解し、説明できるようになることが狙いです。</p>							
目標							
一般目標(GIO) <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	この科目の目標は、循環器系や内臓器系の名称の特徴を細胞レベルまで理解したうえで記憶し、柔道整復理論をはじめ、整復技術や様々な疾患・損傷を学ぶ際に、より正しく深く理解することにあります。						
	到達目標(SBO) <small>一般目標を達成するために必要とされる具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>	<ul style="list-style-type: none"> 【内臓系】 <ul style="list-style-type: none"> 消化器の種類と構造について複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 各消化器の構造について複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 各呼吸器の構造について複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 各泌尿器の構造について複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 各生殖器の特徴や構造について複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 【脈管系】 <ul style="list-style-type: none"> 心臓の位置と形態、構造、弁について、複数の選択肢の中から適切なものを選ぶことができる。 心臓壁の構造について複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 刺激伝導系について複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 心臓の脈管(冠状動脈と冠状静脈洞)について複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 心臓の神経、心臓について複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 肺循環、体循環について複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 各動脈系について複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 各静脈系について図で示す部位の名称を答えることができる。 各静脈系について複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 各静脈系について図で示す部位の名称を答えることができる。 胎児循環について複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 胎児循環について図で示す部位の名称を答えることができる。 リンパ系について複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 リンパ系について図で示す部位の名称を答えることができる。 					
人体のしくみ1							
教科書・参考書							
教科書:解剖学 改訂第2版 岸・石塚編 医歯薬出版							
受講上の注意							
予習・復習を心がけること。非定期に小テストを実施して理解度をチェックする。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	80	20					100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	消化器系1(総論)			P.157-164	ノート・筆記用具		
第2回	消化器系2(口、咽喉、食道)			P.164-166	ノート・筆記用具		
第3回	消化器系3(胃、小腸、大腸)			P.167-171	ノート・筆記用具		
第4回	消化器系4(肝臓、胆道)			P.171-173	ノート・筆記用具		
第5回	消化器系5(膵臓、腹膜)			P.173-177	ノート・筆記用具		
第6回	呼吸器系1(鼻腔、喉頭、気管)			P.177-181	ノート・筆記用具		
第7回	呼吸器系2(気管支、肺、胸膜、縦隔)			P.181-186	ノート・筆記用具		
第8回	泌尿器系1(腎臓)			P.186-190	ノート・筆記用具		
第9回	泌尿器系2(尿管、膀胱、尿道)			P.190-192	ノート・筆記用具		
第10回	生殖器系1(男性生殖器)			P.192-197	ノート・筆記用具		
第11回	生殖器系2(女性生殖器)			P.197-205	ノート・筆記用具		
第12回	脈管系1(総論)			P.123-126	ノート・筆記用具		
第13回	脈管系2(心臓)			P.127-129	ノート・筆記用具		
第14回	脈管系3(心臓)			P.130-133	ノート・筆記用具		
第15回	脈管系4(動脈系)			P.133-138	ノート・筆記用具		
第16回	脈管系5(動脈系)			P.139-144	ノート・筆記用具		
第17回	脈管系6(静脈系)			P.145-150	ノート・筆記用具		
第18回	脈管系7(胎児循環、リンパ系)			P.150-156	ノート・筆記用具		
第19回	総括				ノート・筆記用具		
第20回	定期試験				ノート・筆記用具		
第21回	定期試験解説				ノート・筆記用具		
実務経験と本講義との関連について							
メールアドレス							
fujeda-t@nihonsei.ac.jp							